

# 県中域内地域連携担当教職員等研修会

日時：令和4年6月29日（水）13：20～16：30

会場：オンラインにて開催

参加者：45名

小学校23名 中学校9名 義務教育学校2名 県立学校11名

講話：「おしごと発見！ミライを考える出前講座について」13：30～13：50

講師：県中地方振興局企画商工部地域づくり商工労政課 主任主査 大内 智子 氏

- 今年度から実施する「おしごと発見！ミライを考える出前講座について」の概要について紹介していただきました。
- 未来を担う子どもたちに地域の魅力ある企業を知ってもらうことと、企業と学校がタッグを組んで取り組める環境整備が必要であることから出前講座を実施していきます。
- 出前講座の実施内容は、「福島ならではの教育」「地域課題をテーマとした探究学習」「職業観を学ぶときの導入」「キャリア教育の一環」とし、児童・生徒が主体的に学習できるようにしていきます。その他、学校と地域企業とが連携した取組をサポートしていきます。
- 県中地方振興局職員が講師となり、旅費、教材は県が負担します。各学校の要望にあわせて柔軟に対応するので、積極的な活用をお願いします。



講演：「地域とともにある学校づくり～コミュニティ・スクールの導入と取り組み事例～」

14：10～15：40

講師：文部科学省 総合教育政策局 CS マイスター、ふくしま学校と地域の未来研究所代表 安齋 宏之 氏

- 時代の変化に伴い、学校と地域の在り方が変化していることから、これからの時代を生き抜く力や地域住民が自ら地域を創っていくという意識が求められています。
- 「学校だけで頑張ること」「学校だけが頑張ること」は困難な状況であり、保護者・地域住民の力を借りて、今こそ学校を改善・改革することが最重要課題です。
- コミュニティ・スクールの活動のイメージとして、地域の方と一緒に地域のフェスティバルや防災訓練等を行うこと、地域の方が学校に来校し読み聞かせやミシンを使った学習の補助、環境整備をすること、地域清掃活動や祭りへ子どもを参加させ、地域に貢献させること等が挙げられます。
- 地域とともにある学校づくりと学校を核とした地域づくりの実現に向けて、子どもにとっての魅力、教職員にとっての魅力、保護者にとっての魅力、地域にとっての魅力を明確に理解させる必要があります。



事例紹介：「湖南高等学校におけるコミュニティ・スクールの取組」

15：50～16：20

発表者：福島県立湖南高等学校 教諭 久住 貴紀 氏

- 湖南高校は、県内で初めてコミュニティ・スクールに指定されました。学校も探究活動を通し、地域の課題解決に協働して取り組んでいます。地域農家と連携し、一から蕎麦を作る蕎麦プロジェクトを学校行事として行っています。他にも湖南の文化財や自然に親しむ「ぐるっと湖南」やスキー遠足など、体験型の学びが盛りだくさんです。
- 湖南高校には、人間性を磨く行事がたくさんあります。湖畔清掃は昭和48年から続く行事で、猪苗代湖畔の雄大な自然、豊かな水、生き物を守るために猪苗代湖の南岸の美化活動を行っています。除雪ボランティアは雪害に悩む高齢者が安心して生活するための手助けとして、平成9年から続く行事です。地域の方の感謝の言葉によって、体と心が温まる、達成感の大きな活動です。
- 地域協働推進校として、地域と協力し、学んだことを地域に還元し、地域活性化に貢献していきます。

